知的財産教育研究･専門職大学院協議会

夏期知的財産連合英語セミナー2015

-「学生コース」-

日　程：2015年8月24日～28日
会　場：東京理科大学　森戸記念館

【主催】 知的財産教育研究･専門職大学院協議会（JAUIP）
【協力】 WIPO（世界知的所有権機関）、IPAJ（日本知財学会）、JIPA（日本知的財産協会）

開催のご案内

- 当協議会は毎年、すべて英語による夏期知的財産連合セミナーを開催しております。これは、わが国の知財系大学院が協力して、アジア・新興国の知的財産高度専門人材の育成を推進するために開催するもので、今年で4回目の開催となります。日本人受講者も参加できます。
- 学生コースは、日本の知財法や知財実務について、当協議会のメンバー校の教員が講義します。 加えて、WIPO、日本知財学会、日本知的財産協会などの協力を得て、多様な先端的なプログラムやグループ討論・ワークショップなどの受講者参加型のプログラムも実施されます。最終日には、特許庁および知的財産高等裁判所の視察ツアーを行います。

＜学生コースのご案内＞

- 期日： 2015年8月24日（月） - 8月28日（金）※全日程参加要（最終日の見学は任意）
- 会場： 東京理科大学・森戸記念館
- 費用： 3,000円 （セミナー初日に受付でお支払いただきます）
- 定員： 50名
- 言語： 英語（討論および発表も行います）
- 備考： PPTスライドが利用可能なノートPCを持参してください
- 資料： 協議会WEBサイトより各自ダウンロードしていただきます（ハードコピーによる配布はありません）
- 担当： 藤野仁三（東京理科大学専門職大学院嘱託教授）
  加藤 浩（日本大学専門職大学院教授）

スケジュール

	8月24日（月）	8月25日（火）	8月26日（水）	8月27（木）	8月28日（金）
午前	受講受付 10:00 -	特許法 加藤浩 9:00 - 10:20	不正競争防止法 鈴木信也 9:00 - 10:20	特許審査実務 平瀬知明 9:00 - 10:20	知財高裁見学 10:00 - 12:00
	ガイダンス 10:30 - 12:00	意匠法 鈴木公明 10:40 - 12:00	著作権法 安田和史 10:40 - 12:00	ICT分野における知的財産権 菅野政孝 10:40 - 12:00	
昼休み	12:00～13:30	12:00～13:30	12:00～13:30	12:00～13:30	12:00 - 13:30
午後	WIPOセッション グローバル化と知財 岡本正紀 13:30 - 14:50	商標法 服部謙太朗 13:30 - 14:50	国際取引法と知財法 舛井一仁 13:30 - 14:50	知的財産戦略策定 田中義敏 13:30 - 14:50	経済産業省 模倣品対策室見学 13:30 - 14:30
	グローバル化と知財 パネル討論（1） (TBD) 15:10 - 16:30	IPAJセッション 日本のイノベーションシステムと知的財産 山内勇 15:10 - 16:30	特許権、標準および競争法の交錯 藤野仁三 15:10 – 16:30	グループワーク （討論・発表） 受講者全員 16:50 - 18:20	
	グローバル化と知財 パネル討論（2） (TBD) 16:50 - 18:20	JIPAセッション ホンダのアセアンにおける知財活動 遠藤嘉浩 16:50 - 18:20	グループワーク: SEP権利制限正当化理論を考える 藤野仁三 16:50 - 18:20	講評・修了	特許庁見学 15:15 - 17:15
	懇親会	—	—	ー	

講義内容（１）

- **WIPOセッション 「グローバル化と知財」**
  - 国際的視点から見た知財制度の今後の方向性 -

近年、世界のグローバル化の進展に伴い、国際的視点から知財制度の今後の方向性を考察することの重要性が益々高まってきている。本講義の前半では、世界知的所有権機関（WIPO）の取組内容の説明をつうじて、知財制度がおかれている現状とその問題点、またそれらを解決するための手がかりについて、国際的視点から概括する。後半は、途上国の発明家や起業家による知財の活用事例を用いたワークショップ形式の演習を行なう。

- **WIPOセッション 「パネルディスカッション」**
  - 国際的な知財システムの今後の方向性 -

知的財産権の出願や取得の中心は、近年、先進国からアジア・新興国にシフトしつつあり、知的財産権の世界地理は、大きく変化してきている。有識者をパネリストとしてお招きし、国際的な知財システムの現状と課題について検討を行い、今後の方向性についてパネルディスカッションを行う。

- **「特許法」**
  -日本の特許法はどのように産業に寄与しているのか -

日本の特許法は、発明を奨励し、もって産業の発達に寄与することを目的としている。本講義では、日本の特許法の概要について説明したうえで、主要国の特許法と比較して、日本の特許法の特徴について考察する。また、最近の特許法改正の方向性について説明し、日本の特許法が産業の発達に与える影響について考察する。

- **「意匠法」**
  - 知的財産戦略へのインプリケーション -

知的財産法のうち意匠法の概要を示すことにより、審査、登録を経てプロダクトデザインを保護する法的枠組みに関する基礎的な知識と、知的財産法体系における意匠法の位置付けを解説する。

講義内容（２）

- **「商標法」**
  - ブランド保護のための商標活用方法 -

講義の前半では、日本の商標法の概要につき、他の知的財産権や諸外国の商標法制度と対比しつつ解説します。講義の後半では、ライセンス契約や模倣品対策において実務上商標がどのように活用されているかについて解説します。日本では2015年4月から音や色彩等の新しい商標の登録が可能となります。本講義ではこのような新しい商標が実務にどのような影響を与えるかについても講義する予定です。

- **日本知財学会セッション**
  「日本のイノベーションシステムと知的財産」

知的財産制度は多くの国でイノベーションシステムの一部として組み込まれて機能している。最近では新興国においても科学技術政策の主要なツールとして位置付けられていることも多い。本セッションでは日本のイノベーション戦略のなかで知的財産制度がどのように位置づけられているのかについて、国家プロジェクト、産学連携や大学の知財管理などを題材として解説する。

- **日本知的財産セッション**
  「ホンダのアセアンにおける知財活動」

アセアンに進出する際に企業は様々な現地の知財問題に遭遇する。その問題が時として日本および欧米さらには韓国中国企業からの技術移転や直接投資に影響するというレポートがERIA（東アジアアセアン経済研究所）のレポートで示されている。このセッションではホンダの知財活動とアセアンにおける知財問題を事例として、アセアンの知財の課題について解決策を議論する。

- **「不正競争防止法」**
  -不正競争防止法の実務上の対策と判例の紹介-

正競争防止法の概論的な講義を行い、①所品等表示、②著名表示、③商品形態、④営業秘密、⑤技術的制限手段、⑥原産地誤認混同行為等を中心に、不正競争の行為類型、不正競争に対する救済制度について解説します。また、不正競争防止法と他の知的財産法との関係と実務上どのように利用されているかについても解説します。具体的なイメージが持てるように近時の判例の解説を十分に取り入れたいと思います。

講義内容（３）

- **「著作権法」**
  - インターネットと著作権に関する近時の課題 -

著作権法の概論的な解説を行うとともに、インターネット関連の事例を中心に検討します。日本では、コンテンツがインターネットで流通するための法整備が進められています。電子出版に関する法整備が行われ、2015年1月1日に施行されています。さらに、クラウドコンピューティングサービスの拡大に伴うコンテンツの流通のあり方について議論が進められています。セミナーではこれらの動向を踏まえて解説を行います。

- **「国際取引法と知財法」**
  - 自社にとって有利な契約交渉術とは何か？
  現実に使われている契約書から学ぶ -

今回は国際取引の中でも近年頻繁に見られる海外の企業からのソフトウェアのライセンス許諾契約書を見て、その内容を学んでいきます。講義に用いる契約書はアメリカの上場企業の了解を得て、現実に利用されているものを使います。契約の一般条項とライセンスに特有の条項を概観することを目的にしています。自社にとっての有利不利などを検討してみましょう。

- **「特許権、標準および競争法の交錯」**
  - 標準必須特許（SEP）の問題-

企業は開発した技術を特許権で保護しようとします。同時に、技術成果を標準化して普及させようとします。この傾向は電気通信（ICT）分野で特に顕著です。しかし、この分野では、特許権行使が競争法違反とされるおそれがありますので、事業推進にあたり注意が必要です。好例が「アップル対サムスン」事件におけるスマートフォンをめぐる知財権侵害紛争です。本講義では、なぜ標準必須特許の行使によって競争法違反の問題が生じるのか、そのメカニズムを解説します。

- **グループワーク**
  「SEP権利制限正当化理論を考える」

世界の標準化機関では知的財産方針（IP Policy）の改訂を検討しています。未解決の問題は、標準必須特許（SEP）に基づく差止請求を認めるかどうか。この講義では、受講者を幾つかのグループ分けしてSEPの権利行使を制限する場合にどのような理由によるべきかを議論してもらいます。このグループワークは、直前の講義の事実背景を前提にして展開するものです。

講義内容（４）

- **「特許審査実務」**
  - 日本の特許審査実務の基礎知識 -

本講義では、日本での特許審査手続を概観しつつ、特許審査実務の基礎、特に、新規性、進歩性、明細書及びクレームの記載要件について解説する。また、日本特許庁の特許審査関連の施策についても言及する。

- **「ICT分野における知的財産権」**
  - ICT世界における知的財産の宝庫の扉を開こう -

情報・通信技術（ICT: Information and Communication Technology）の発展は著しい。このため法律はICTの発展に追従できていないということが良く言われる。従って、ICTの発展状況から法的にどのような問題が発生するかを早めに予想することが必要となる。本講義ではICTについて簡単に概説し、知的財産権の中で特許と著作権を代表例としてICTとの関わり方について説明する。その上で、ICTを題材とした特許法、著作権法に関連する判例をいくつか抽出して技術的なポイントと判決の持つ意義を解説する。

- **「知的財産戦略策定」**
  - あなたは戦略策定のプロセスを御存知ですか？-

知的財産戦略の欠如ゆえ知的財産権の十分な活用が図れていないと言われる。企業を取り巻く外部環境及び内部資源はそれぞれ異なるため、それぞれの企業が独自の知的財産戦略を構築しなければならない。まず、戦略策定のプロセスを踏まえることが必要である。その上で、知的財産制度及び運用を踏まえた知的財産分野に特有の戦略要素を加味しなければならない。この講義では、知的財産分野の戦略要素を如何にして戦略策定のプロセスに融合させ、知的財産戦略を策定していくかを解説する。

- **グループワーク・プレゼンテーション**

夏期東京知的財産連合セミナーの全体を通して修得した知見などに基づいて、与えられたテーマについてセミナー開催期間中に各グループで発表資料を作成し、最終日にグループごとに、グループ発表・討論を行う。テーマおよびグループの構成メンバーについては、初日のガイダンスの際に詳細に説明する。講師より講評を行うとともに優秀グループを表彰する。

施設見学

「特許庁見学」

– 特許庁の現状と課題を見聞しよう！ –

特許庁は、特許、実用新案、意匠、商標に関する審査・審判に関する業務を担当する官庁であり、最近では、知的財産制度の普及活動などを含め、広く知的財産行政を担当している。このコースでは、特許庁を実際に訪問し、審判廷などの見学のほか、審査室において審査官から直接、お話を頂くことを予定しており、最近の知的財産行政の現状を把握し、今後の課題について認識を深めることを狙いとする。

「知財高裁見学」

– 知財高裁の現状と課題を見聞しよう！ –

知的財産高等裁判所（知財高裁）は、知的財産権に関する訴訟を専門に担当する裁判所として、2005年4月に設置され、知的財産権に係る紛争の解決に貢献している。このコースでは、知財高裁を実際に訪問し、法廷見学や知財高裁所長などからお話を頂くことを予定しており、最近の知的財産訴訟の現状を把握し、今後の課題について認識を深めることを狙いとする。

講師プロフィール（１）

岡本正紀

世界知的所有権機関（WIPO）
日本事務所　カウンセラー
前職：特許庁審査官、特許庁調整課品質監理室長補佐、経済産業省製造産業局模倣品対策・通商室専門官

鈴木公明

東京理科大学大学院イノベーション研究科
知的財産戦略専攻教授（弁理士）
特許庁　制度改正審議室、特許・実用新案審査、意匠審査、意匠制度企画室等を歴任

加藤　浩

日本大学大学院知的財産研究科教授
（弁理士/工学博士）
前職：特許庁審査官・審判官、政策研究大学院大学助教授

服部謙太朗

弁護士・弁理士
竹田・長谷川法律事務所パートナー

講師プロフィール（２）

山内　勇

独立行政法人経済産業研究所 研究員
特定非営利活動法人イノベーション・政策研究所 副理事長
文部科学省科学技術政策研究所 客員研究官
立正大学 非常勤講師

鈴木信也

株式会社沖データ　知的財産室
ニューヨーク州弁護士、日本国弁理士
米国ジョージワシントン大学ロースクール修了（知的財産修士）
2013年度フルブライト奨学金奨学生

(NO PHOTO)

遠藤嘉浩

本田技研工業株式会社
知的財産部　二輪事業知財室長
慶応大学法学部卒
ニューヨーク大学ロースクール比較法学修士課程修了

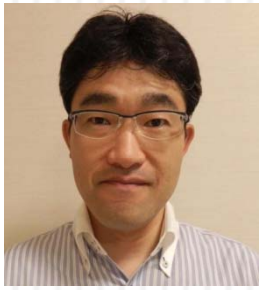
安田和史

東京理科大学大学院イノベーション研究科
知的財産戦略専攻非常勤講師
第一工業大学工学部非常勤講師
株式会社スズキアンドアソシエイツ取締役

講師プロフィール（３）

舛井一仁

芝綜合法律事務所 弁護士、アースタックス グループ 取締役、北見工業大学 客員教授、岡山大学 客員教授、国士舘大学 総合知的財産法学研究科（大学院）非常勤講師、Allen Systems Group Inc. 日本代表 (本社 米国フロリダ州) 、日本ブロードビジョン株式会社 代表取締役 (本社 BroadVision Inc. 米国上場) 、AMEC ASIA株式会社 代表取締役 （本社 AMEC Inc. 米国・英国上場）、コースタル ジャパン株式会社 代表取締役 （本社 Coastal Contact Inc. カナダ）



平瀬知明

特許庁審判官
前職：大阪大学知的財産センター
特任教授、特許庁審査官

菅野政孝

日本大学大学院知的財産研究科教授
前職：日本電信電話公社（現NTT）
横須賀電気通信研究所
ＮＴＴデータ(株) 技術開発本部
ＮＴＴデータ先端技術(株) 企画部

藤野仁三

東京理科大学イノベーション研究科知的財産戦略専攻嘱託教授
東京大学情報理工系研究科非常勤講師、日本知財学会会員、比較法学会会員
IP Management Experts Network メンバー

田中義敏

東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授
弁理士登録、日本知財学会、研究技術計画学会、日本MOT学会、AIPPI等会員

受講生の声

- **「 台湾、大学院生」**

私は、日本の知的財産法について、非常に多くの知識を学びました。このセミナーは、非常に有益であり、また、印象的でした。また、知的財産教育研究・大学院協議会、日本知的財産協会および各大学が、知的財産分野における影響およびネットワークを積極的に強化していることを知り、感銘を受けました。

- **「中国、大学院生」**

私は、本セミナーに参加して、各大学院の先生の知財に関する講義を英語で楽しく聴くことができ、また、他の国の学生と一緒に勉強することができて、とても新鮮な一週間を過ごしました。知財の知識と英語をレベルアップさせて、次回、また参加したいと思います。

- **「マレーシア、公務員」**

このセミナーは、大成功たったと思います。セミナーは、知的財産についてすべての重要なトピックスをカバーされていて、それは知財専門家のために、更に、学生のためにとても有益でした。このセミナーに参加したことの成果は、非常に大きかったと思います。

- **「フィリピン、公務員」**

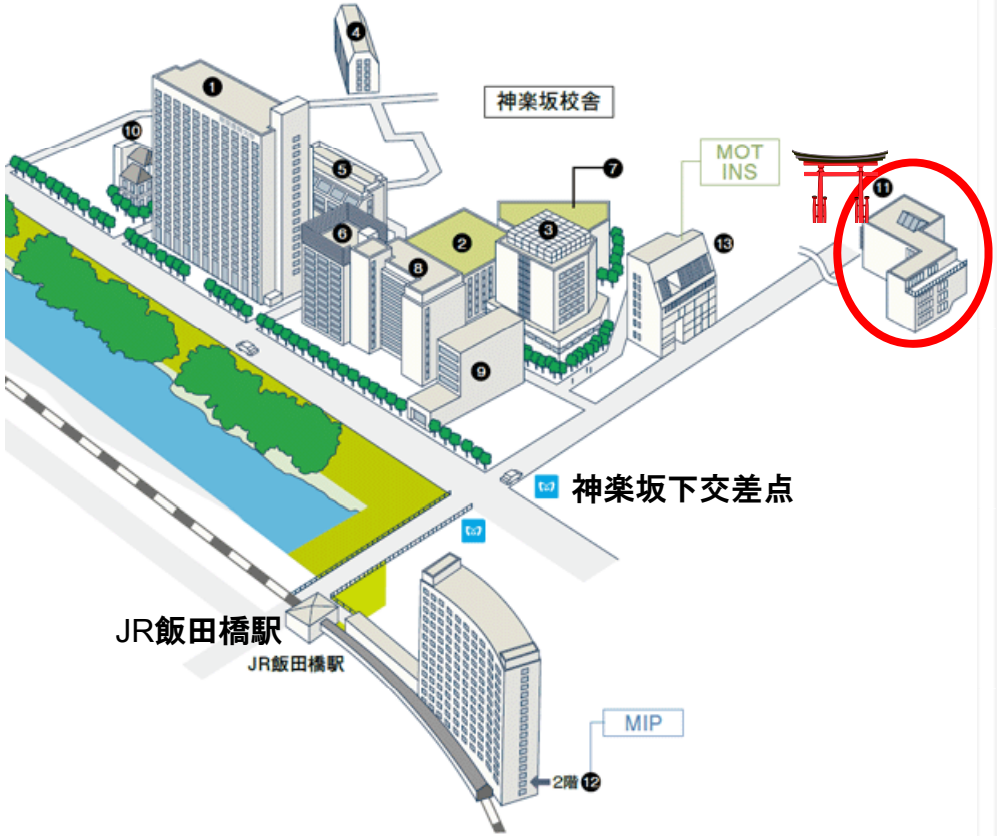
このセミナーでは、日本の大学の先生方の考え方を広く学ぶことができて、とても良い経験になりました。また、企業の経営や知財戦略について知ることができ、大変良い勉強になりました。是非、いろいろな人にこのセミナーを紹介したいと思います。

会場アクセス（森戸記念館）

東京理科大学　森戸記念館
（東京都新宿区神楽坂4-2-2）
http://www.sut.ac.jp/info/access/kagcamp.html

- JR総武線　飯田橋駅　西口　徒歩8分
- 地下鉄有楽町線、東西線、南北線、
  大江戸線　飯田橋駅　B3出口　徒歩5分

神楽坂（早稲田通り）にある毘沙門天の
向かい側の路地を入ってください。
つきあたりが森戸記念館です。



アクセス（知的財産高等裁判所・特許庁）

知的財産高等裁判所

（東京都千代田区霞が関1-1-4
　裁判所合同庁舎17階）
http:www.ip.courts.go.jp/info/access/index.html

- 地下鉄有楽町線　桜田門駅　徒歩3分
- 地下鉄丸ノ内線、日比谷線、千代田線
  霞が関駅　徒歩2分（地上へのエレベーターあり）

特許庁

（東京都千代田区霞が関3丁目4番3号）
http:www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=/shoukai/soshiki/tizu.htm

- 地下鉄　霞が関駅　A13出口　徒歩7分
- 地下鉄　国会議事堂前駅　3番出口　徒歩5分
- 地下鉄　虎ノ門駅　5番出口　徒歩4分
- 地下鉄　溜池山王駅　8番出口　徒歩5分

お問い合わせ

- **知的財産教育研究・専門職大学院協議会**
  Japan **A**ssociation of **U**niversities for **I**ntellectual **P**roperty Education and Research **(JAUIP)**

- **お問い合わせ**

知的財産教育・研究専門職大学院協議会事務局

東京都千代田区飯田橋4-25-1-12

セントラルプラザ2階

東京理科大学知的財産戦略専攻内

TEL:03-5225-6338

- **セミナーに関するお問い合わせ(E-Mail)**
  summer-seminar@jauip.org
- **一般的なお問い合わせ(E-Mail)**
  office@jauip.org